

八幡小学校の改築は、 設計コンペでデザイン競争を



窪田弘子 議員

新しい時代の息吹が感じられる学校になるよう、設計の「競争」をしてもらったらしい。しっかりした設計業者を選び、町・地元住民と練り上げたら、八幡小らしいものができるのではないかと。

町長

過去に役場・総合体育館・図書館など設計コンペをした。デザインはすばらしくなるが、事業費がふくらんだり、時間がかかる。

温知小の改築の時、地元検討委員以外、設計プロセスはわからなかった。また校区外の人も検討委員会に入れたらどうか。10億の公共工事だ。もっと情報公開を。

町長

検討委員会では、学校視察をされ、現在の敷地の中で建てるという事が決まった段階である。仮設校舎を建てないでやりたい。地元とよく協議し、情報はその都度出していく。

道の駅のメインは物産センター

将来の入札改革を見据えて、温知小の落札率は？

町長

池田町は予定価格を公表していないので落札率はない。

あいさつ運動は 子供だけでなく大人も

先日開かれた中学生のジュニア会議で、町をあげてあいさつ運動をしたらどうかと提案があったが、私も同感だ。地域の連携を深め、いざという時支え合う、つながりを作るためにも、あいさつは大切だから。町も取り組んだらどうか。

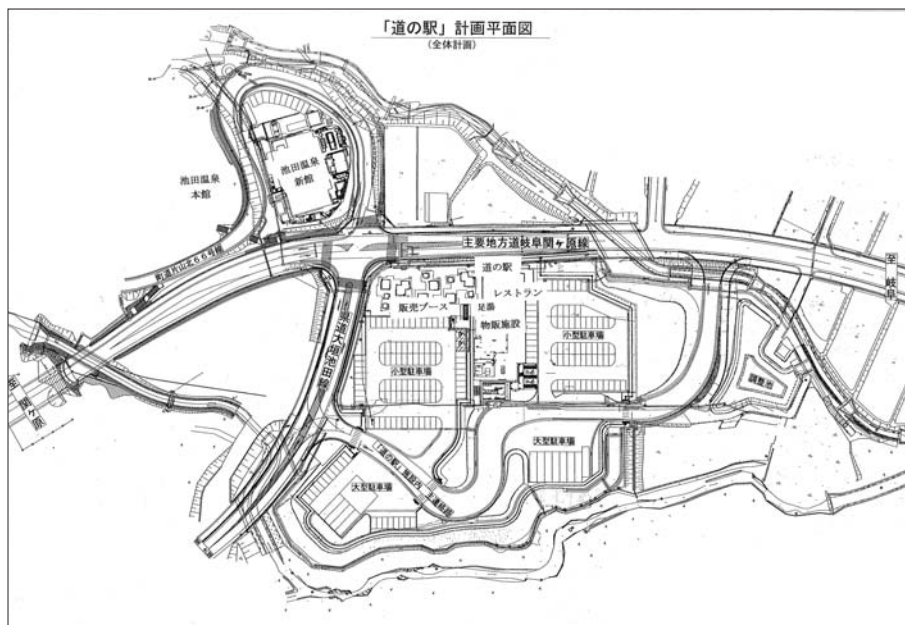
町長

そのような運動が展開できるように機会があることに話をしていく。

中心施設の物産センターは農協さんに入ってもらおう予定だが、海津・揖斐・本巢の道の駅はどれも野菜を農協から仕入れていない。農協の卸売所はかなり評判がいいが、町内二店目となる「道の駅」まで手がまわるのか。まంచి難しそうなら、経営者を公募して町独自のやり方を考えられたらいい。

町長

正式に農協さんにまだ決まっていなくても、前向きに検討してもらっている。私は受けてもらえると思っている。



道の駅から何を発信されるのか。

町長

温泉という核があるので足湯も作る。道の駅としては、農業振興。町内産の野菜など販売できる所を確保するという事。